

No. 0004

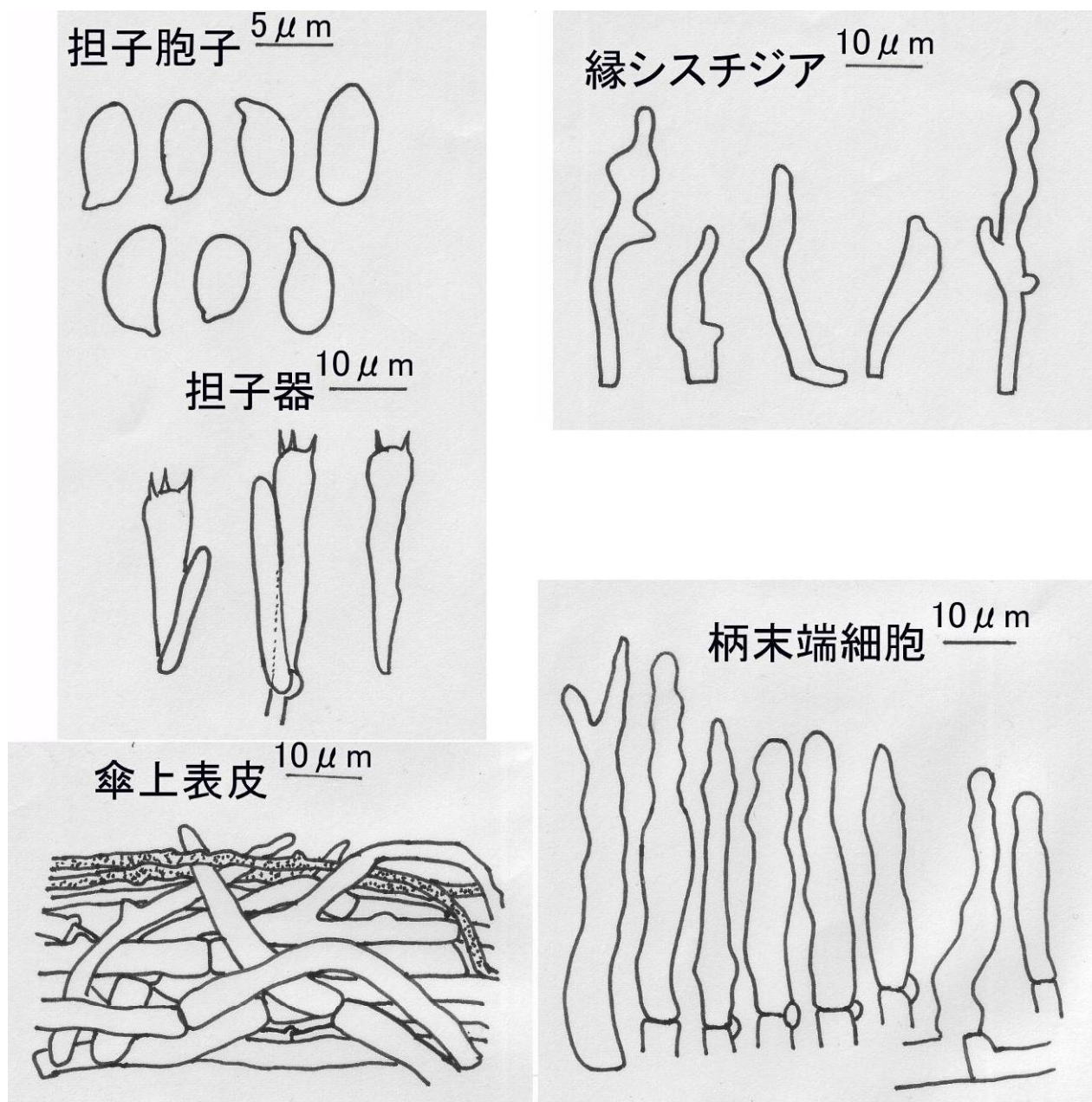
コゲチャクサカレハタケ

*Gymnopus impudicus* (Fr.) Antonin, Halling & Noordel









●傘は径 1.4-6.0cm, 饅頭形から平らな釣鐘形のち平開し、ついにはそり返り, 縁は波打つ;表面は凸凹しているものも多く, 平滑で粘性はなく, 条線があり, 幼時は暗赤褐色, 成長すると周辺から色あせて白~帯黄白色になるが, 中心部は幼時の色を残す。

●肉は傘部で帯茶白色, 柄部で柄の表面と同色, ヘクソカズラもしくはカイワレダイコンのような匂いがし, 味は匂いのような味である。

●柄は 2.0-5.0×0.2-1.0cm, 上下同径か基部はやや細く, 中心性, 中空;表面は白い微粉状の毛が付着し, かすかに縦状線が見られ, 幼時は暗赤褐色, 成長すると色あせて淡茶色~帯赤茶色, 下部はときに暗赤褐色, 基部には白い菌糸が存在する。

●ヒダは密, 上生し, 幅 0.15-0.30cm, 幼時は淡茶色のち帯茶白色~帯灰白色~類白色, 小ヒダがある。

●孢子紋は白色。

●孢子は楕円形~卵形, 大きさ 6.0-8.5×3.5-4.0 μm (メルツァー液で 4.5,-6.0×2.5-3.0 μm), Q 比 1.7-2.1;表面は平滑, 薄膜, 非アミロイド, コットンブルー非染色性。

- 担子器は円柱形～棍棒形, 27.5-33.0×5.0 μ m.
- 縁シスチジアは屈曲した円柱形, 途中で分枝するものや膨らむもの, 先が細くなるものがあり, 大きさ 21-43×3.0-7.0 μ m, 薄膜.
- 側シスチジアは見つからない.
- 子実層托実質は並列型, 非アミロイド.
- 傘上表皮は平行菌糸被で, 茶色い色素を凝着した約 2.5 μ m の菌糸が平行に走り、その下に 3.5-10 μ m の菌糸がやや錯綜しながら並行に走り, 菌糸は非アミロイド.
- 柄上表皮は 2.0-5.0 μ m の菌糸が錯綜しながら平行に走り, 白い微粉状のものがある所では末端細胞がシスチジア様となり立ち上がる;末端細胞は円柱形, ときに分枝するものや先端は尖るものがあり, 大きさ 25-80×4-7 μ m, 薄膜, 非アミロイド.
- クランプはすべての菌糸にある.

採集日 2006年4月16日, 2007年4月26日, 2007年5月2日

採集場所 神戸市北区山田町

採集環境 アカマツの腐朽材上、アカマツ林内の腐植質がかなり堆積している地上

採集者 幸徳伸也

同定者 幸徳伸也

標本番号 なし